



変更内容

Version: v4.1.11

変更内容一覧

1. 「出力アプリ」コマンドを大幅にアップデート
 - 新機能①：出力時に並び順を指定できる
 - 新機能②：任意の連番を自動採番できる
 - 新機能③：テーブルの特定レコードのみを更新できる
2. 新機能④：データ編集フローにメモを追加できる
3. その他改善項目と変更点
4. 不具合修正

「出力アプリ」コマンドを大幅にアップデート

設定ファイル ホーム データ

検索 自動採番(設定あり)... 入力レコード数: 20 APIリクエスト数(推定): 4 実行

② 自動採番

請求管理 設定 プレビュー 自動採番

更新 再生成 追加 更新または追加

アプリのフィールド	データ編集フローのフィールド	更新キー
請求番号	請求番号	☒
契約番号	契約番号	☐
顧客ID	顧客ID	☐
担当者	担当者	☐
部署	部署	☐
契約開始日	契約開始日	☐
契約終了日	契約終了日	☐
請求日	請求日	☐
支払期限	支払期限	☐
請求書出力日時	(指定しない)	☐
請求明細	請求明細	☐

③ 更新 再生成 更新または追加

アプリのフィールド	データ編集フローのフィールド	更新キー
明細番号	明細番号	☒
商品名	商品名	☐
商品区分	商品区分	☐
料金	料金	☐
数量	数量	☐

① レコードの出力順序

未設定 降順

テーブルレコードの出力順序

未設定 降順

新機能①：出力時に並び順を指定できる

「出力アプリ」コマンドの設定でアプリに追加出力するレコードの並び順を指定できます。そのため、請求管理業務では管理番号順で請求レコードを出力できます。また、並び順の指定はテーブルでも指定できるので、請求明細の明細番号順で出力することもできます。データの並び順を指定することで、集計するだけでなく規則良く出力できるため、出力したデータの視認性を向上できます。

請求管理

設定

プレビュー

自動採番

数量

数量

レコードの出力順序

顧客ID

昇順

×

契約開始日

昇順

×

顧客単位で契約開始日が古いものからレコードを出力

テーブルレコードの出力順序

請求明細

明細番号

昇順

+

テーブルにも並び順を設定できる

指定した並び順でレコードが出力される

請求管理(標準一覧)						
1 - 20 (20件中)						
請求番号	顧客ID	顧客名	部署	担当者	契約開始日	
202005-CUS0001-001	CUS0001	戸田ネットソリューションズ	開発本部	川崎 丈史	2016-01-01	
202005-CUS0001-002	CUS0001	戸田ネットソリューションズ	総務部	原田 ちえみ	2017-01-01	
202005-CUS0001-003	CUS0001	戸田ネットソリューションズ	総務部	水谷 まなみ	2018-01-01	
202005-CUS0005-001	CUS0005	寺島総合法律事務所	総務部	星野 長利	2016-05-01	
202005-CUS0005-002	CUS0005	明細番号 商品名 商品				
202005-CUS0005-003	CUS0005					
202005-CUS0006-001	CUS0006					
		No.001	ゆっくり回線基本料	基		
		No.002	留守番電話オプション	オ		
		No.003	3GB拡張オプション	オ		
		No.004	ホットサポートオプション	オ		

新機能②：任意の連番を自動採番できる

「出力アプリ」コマンドで自動採番を設定してレコードを出力できます。毎月の請求管理業務で請求番号を付与したいユースケースに対応できます。また、自動採番はテーブルにも利用できるもので、請求明細に明細番号を付与して出力することもできます。

さらに、この自動採番ではグループ単位で採番できるため、分類やグループごとに連番を付与することもできます。

請求管理 設定 プレビュー 自動採番

請求番号

2.採番する単位を選択

アプリ単位

採番する番号を設定

3.採番するレコードをグループ化する項目を選択

請求日

顧客ID

フィールドを追加

4.リセット周期を設定

なし

年度の開始月: 1月

5.番号の桁数を設定

1

6.番号の前に付与する文字列を設定

数式

=TEXT(請求日,"yyyymm") & "-" & 顧客ID &

7.番号の後に付与する文字列を設定

なし

レコードに自動採番を設定

請求明細

1.番号を出力するフィールドを選択

明細番号

2.番号の桁数を設定

3

3.番号の前に付与する文字列を設定

文字列

No.

4.番号の後に付与する文字列を設定

なし

テーブルに自動採番を設定

新機能②：任意の連番を自動採番できる

自動採番例 1

出力するレコードにユニークな連番を付与する

請求番号	請求日	企業名	製品	金額
GC-2020-0001	2020/6/30	企業A	Garoon	10000
GC-2020-0002	2020/6/30	企業B	Office	80000
GC-2020-0003	2020/6/30	企業C	kintone	42000
GC-2020-0004	2020/6/30	企業D	Garoon	10000
GC-2020-0005	2020/6/30	企業E	Office	50000
GC-2020-0006	2020/6/30	企業F	kintone	15000
GC-2020-0007	2020/6/30	企業G	Office	30000
GC-2020-0008	2020/6/30	企業H	kintone	27000
GC-2020-0009	2020/6/30	企業I	Office	10900
GC-2020-0010	2020/6/30	企業J	kintone	20000

連番の前後に連結する文字列を数式などで設定できます
“GC-” & TEXT(請求日,”yyyy”) & “-” & 連番

新機能②：任意の連番を自動採番できる

自動採番例 2

出力するレコードとテーブルにユニークな連番を付与する

レコード

請求番号	請求日	企業名	合計金額
GC-2020-0001	2020/6/30	企業A	10000
GC-2020-0002	2020/6/30	企業B	80000
GC-2020-0003	2020/6/30	企業C	42000

テーブル

明細番号	製品	金額
#001	Garoon	10000
#002	Office	80000
#003	kintone	42000

明細番号	製品	金額
#001	Garoon	10000
#002	Office	50000
#003	kintone	15000

明細番号	製品	金額
#001	Office	30000
#002	kintone	27000

新機能②：任意の連番を自動採番できる

自動採番例 3

出力するレコードに任意のグループ単位でユニークな連番を付与する

請求番号	請求日	企業ID	企業名	部署	製品	金額
202006-C0001-01	2020/6/30	C0001	企業A	営業部	kintone	10000
202006-C0001-02	2020/6/30	C0001	企業A	経理部	kintone	80000
202006-C0001-03	2020/6/30	C0001	企業A	システム管理部	kintone	42000
202006-C0002-01	2020/6/30	C0002	企業B	設計部	kintone	10000
202006-C0002-02	2020/6/30	C0002	企業B	製造第 1 部	Office	50000
202006-C0002-03	2020/6/30	C0002	企業B	生産管理部	kintone	15000
202006-C0003-01	2020/6/30	C0003	企業C	マーケティング部	Office	30000
202006-C0003-02	2020/6/30	C0003	企業C	販売管理部	kintone	27000
202006-C0004-01	2020/6/30	C0004	企業D	BPR部	kintone	10900

請求日と企業IDをグループキーにして自動採番できる
TEXT(請求日,"yyyymm") & "-" & 企業ID & 連番

新機能③：テーブルの特定レコードのみを更新できる

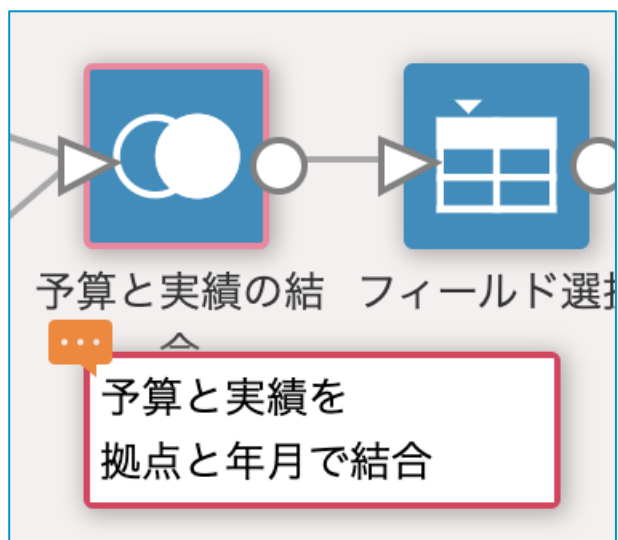
「出力アプリ」コマンドでテーブルにも更新キーを指定できます。これまでテーブルは常に再生成する方法しかありませんでしたが、ピンポイントでテーブルのデータを更新、または、データを追加する集計ケースにも対応できます。

請求管理		設定	プレビュー	自動採番
顧客ID	顧客ID	▼		☐
担当者	担当者	▼		☐
部署	部署	▼		☐
契約開始日	契約開始日	▼		☐
契約終了日	契約終了日	▼		☐
請求日	請求日	▼		☐
支払期限	支払期限	▼		☐
請求書出力日時	(指定しない)	▼		☐
請求明細	請求明細	▼ ? ● 更新 ○ 再生成 ? ☒ 更新または追加		☐
	アプリのフィールド	データ編集フローのフィールド	更新キー	
明細番号	明細番号	▼	☒	
商品名	商品名	▼	☐	
商品区分	商品区分	▼	☐	
料金	料金	▼	☐	
数量	数量	▼	☐	

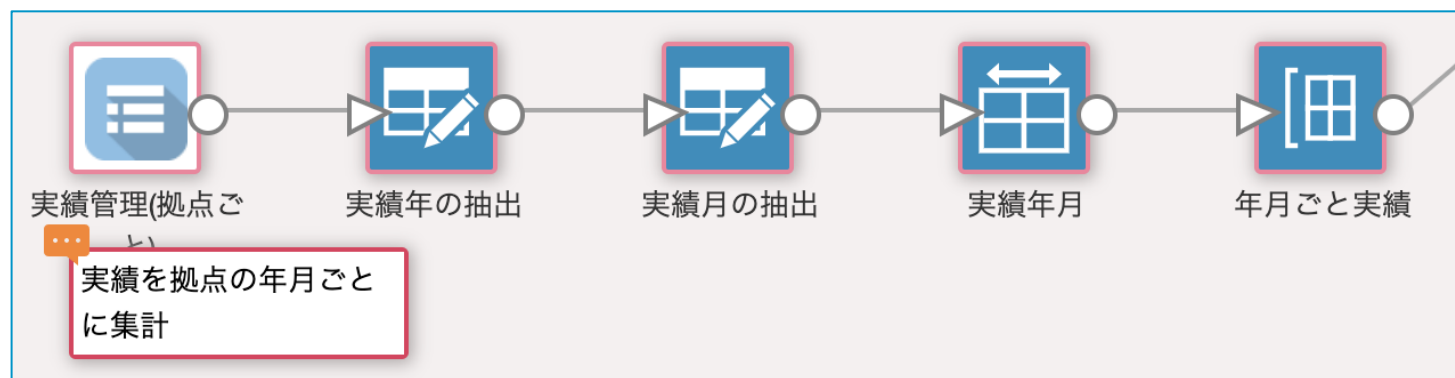
新機能④：データ編集フローにメモを追加できる

データ編集フローにメモを追加できます。データ編集フローの各コマンドや一連のコマンドのグループに対してメモを追加することで、作成後のメンテナンスや作成者以外のメンバーがデータ編集フローの内容を理解し易くなります。

【単一コマンドにメモを追加】



【一連のコマンドにメモを追加】



追加したコメントを選択すると関連するコマンドの外枠が赤線で強調表示される

その他の改善項目と変更点

- 改善項目
 - － とくになし
- 変更点
 - － とくになし